

大麦管理情報（収穫）

令和5年5月 日
高岡市農業協同組合
高岡農林振興センター

大麦の成熟期は、昨年より早くなる見込みです。
ほ場ごとに登熟状況を確認し、適期に収穫できるよう準備を始めましょう。

貴地区の収穫適期は 月 日頃からです

- ◆子実水分が25%以下になったほ場から収穫しましょう。

収穫開始時期の目安

茎葉と子実のほとんどが黄化し、
屈曲した穂の割合が50%程度になった時期



- ◆カラスノエンドウなどの雑草は確実に抜取りましょう。
- ◆平年より収穫時期が早くなっているので、早急にコンバインの点検を行いましょう。
- ◆早刈りは、粒の充実が不十分で空洞粒になりやすく、刈遅れは、熟色不良や収穫ロスの要因となりますので、全ての穂が屈曲する前に収穫を終えましょう。



- ◆収穫作業のチェックポイント

作業のポイント	確認欄
1. コンバインの清掃・点検は行いましたか？	
2. カラスノエンドウなどの雑草は、確実に抜き取りましたか？	
3. 収穫前の子実水分を、確認しましたか？	

大麦収穫後ほ場の管理

～麦跡の雑草管理を徹底し、カメムシの発生・増殖を防止～

- ◆麦跡大豆を作付けする場合

・梅雨が本格化する前に大豆の播種作業を終えるため、「大麦収穫班」と「大豆播種班」の2班体制で作業するなど、大麦の収穫と平行して、大豆の播種を進めましょう。

- ◆地力増進作物や園芸作物などを作付けする場合

・大麦収穫後から播種までの期間が空く場合には、雑草が出穂・繁茂しないように管理しましょう。

- ◆何も作付しない場合

・大麦収穫後は、速やかに耕起または耕起・代かきを行い雑草の穂を土中に埋め込みましょう。その後も雑草が出穂・繁茂しないように随時耕起しましょう。